

【広島土砂災害等支援報告】

■広島土砂災害

①事業名：災害に係る救助犬及びハンドラーの緊急派遣

団体名：(特)救助犬訓練士協会

活動期間：8月20日～25日【完了】

支援金額：475,000円(寄付金)

概要：発災日である8月20日の未明から2陣に分けて、計7名8頭を派遣。自衛隊、消防、警察との連携のもと、他の救助犬団体と合同チームを組み、生存者および行方不明者の捜索を行った。残念ながら生体発見には至らなかったものの、捜索の過程で行方不明者の遺体発見につながった。



②事業名：広島土砂災害に係るスペシャルニーズ調査及び支援へのマッチング

※自主事業として実施

活動期間：8月23日～継続中

業務委託金額：6,907,000円(寄付金)

概要：緊急期は地元の支援機関も混乱しており、生活の上で特別な支援を要する高齢者等への支援が行き届きにくい。これを補完するため、ボランティアセンターと連携し、保健師・介護福祉士等の専門家を派遣。現地支援者とサポート班を編成し、個別訪問によるニーズ調査と支援者へのマッチングを担い、地元の支援体制が整うまで支援する。

【全体実績】(2014年9月23日時点)

訪問・ヒアリング数：992件

ニーズ件数：139件

対応完了件数：31件(108件は継続対応中)



③事業名：広島市土砂災害ボランティア搬送プロジェクト

団体名：広島市災害ボランティア本部

活動期間：8月26日～継続中

助成金額：6,023,000円（モーターボートによる交付金）

概要：累計30,000人超にもなる災害ボランティアセンターに駆け付けるボランティアを活動現場まで効率的に運ぶため、専用のマイクロバス3台を約1カ月間運行。安佐北区等のボランティアセンターの受入れ機能強化に効果を発揮している。

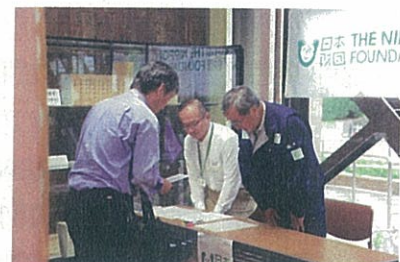


④事業名：広島土砂災害被災者への見舞金給付 ※自主事業として実施

活動期間：8月29日～継続中

支援金額：6,400,000円（寄付金） ※9/25現在の申込ベースでの拠出済額

概要：今般の土砂災害において死亡または行方不明となった方の遺族・親族に対し、1人あたり10万円の見舞金を給付。8月29日から3日間は安佐南区役所、安佐北区役所にて来所した遺族らに48名分を直接手渡し、その後も同役場および日本財団にて受付を継続し現金書留にて送付している。これまで計64名分を給付済。



⑤事業名：全国ネットワークによる災害発生・救援時初動対応

団体名：震災がつなぐ全国ネットワーク

活動期間：9月1日～継続中

助成金額：4,504,000円（モーターボートによる交付金）

概要：地域のいち早い復旧再生をサポートするために、震災がつなぐ全国ネットワークから長期で滞在できる現地スタッフを常時5名程度を派遣し、広島市災害ボランティア本部および安佐北区ボランティアセンター、八木サテライトにてニーズマッチング、支援者連絡会の企画、情報収集等の運営サポートを行っている。



⑦事業名：広島土砂災害に係る大学生ボランティア隊派遣

団体名：(特) 日本学生ボランティアセンター

活動期間：9月5日～継続中

支援金額：1,648,000円(寄付金)

概要：各大学等とのネットワークを活かし、次代の担い手である大学生を“Gakuvo 長ぐつ隊”として派遣。事前のレクリエーションを施した上で、現地派遣しているスタッフ等と連携し、ニーズに基づいた活動を行う。9月5～7日に第1陣を実施した際には東京および広島県内から12名が参加し、泥出しや避難所での足湯活動を行った。第2陣も現地の状況に応じて実施予定。



■丹波市豪雨災害(交付金1,684千円を使用)

⑦事業名：全国ネットワークによる災害発生・救援時初動対応

団体名：震災がつなぐ全国ネットワーク

活動期間：8月22日～9月7日【完了】

助成金額：1,684,000円(モーターボートによる交付金)

概要：丹波市災害ボランティアセンター市島サテライトへ、震災がつなぐ全国ネットワークから運営支援等を長期で担える人員を5名派遣。地域のいち早い復旧再生をサポートした。具体的な活動内容は、多い日1,000名を超える泥出しボランティアの受け入れや現場コーディネート、ニーズ等情報の収集およびマッチングなど。サテライトの運営が安定してきたことを確認し、9月6日に業務やノウハウを地元へ引き継ぎ、撤収。



以上